

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

# 山本 陽子 活動ニュース

VOL.28 2017年9月17日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

涼しくなりましたが台風も心配

山本陽子  
山本陽子  
山本陽子



## LGBT (エルジービーティー) って、知っていますか？

**近**年、「LGBT」(性的少数者)の方の人権がクローズアップされています。「LGBT」とは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル(両性愛者)・トランスジェンダー(出生時に診断された性と自認する性の不一致)などの性的少数者の頭文字を合わせた言葉です。



**実**は人間は、身体の「見た目の性」(外的性器など)と、本人が自覚している「心の性」が、一致していることが〈当たり前〉ではありません。両者が食い違う場合、さらにそこから枝分かれして、好きになる人が同性か異性か、さらに異性の装いを好むかどうかなど、性認識にかかわる組み合わせは機械的に数えても16通りもあるのです。近年、ありのままの自分に正直に生きようと性的少数者であることをカミングアウトされる方も出てきましたが、まだまだ偏見が厳しい世の中です。実は、日本の自殺者のなかには、この



ような性的少数者が高い割合を占めているとも言われています。生きることをあきらめざるをえないような状況はなんとしても改善されなければなりません。民間の調査では実に人口の8%が性的少数者であると言われています。諸外国では、同性同士の婚姻が認められるところもあります。日本でも渋谷区などでパートナーシップ条例をつくって法的な婚姻の効果

までは認めないが、自治体が認証することによって、同性カップルの公営住宅の入居を認めるなどの例が出てきています。

**京**都市会議員団もこの間、学習会や当事者の方との懇談を重ねてきました。先日は、埼玉県出身の大野まさあきさんと懇談をしました。60歳のタクシー運転手の方です。子どものときからずっと「男らしくしなさい!」という教えに苦しんでこられました。自分がトランスジェンダーであるということに気づかず、心を抑圧されたまま生きてきた50数年だったと言います。同じような方の手記を読み、女性の服を着てみたら、心が解放されて自分の心の性に気づいたようですが、ここに至るまでやはり、自殺を考えられたこともあったそうです。医学的にも推奨される性転換をしたいと思っても保険がきかない、厳しい状況も教えていただきました。

**人**として生まれた以上、誰もが幸せに生きる権利がある(憲法13条)。日本でも、性的少数者の方が自殺などを考えずにすむような社会をめざす時が来ました。皆さんにも、身近にそんな人がいることを知っていただきたいと思います。



右から3番目が大野さん

## 憲法9条を変えさせない!!



**9**月8日『安倍9条改憲 NO 全国市民アクション』が開始されました。憲法9条を変えさせないための署名を3000万人目標に集めます。安倍首相は、自らの任期中に憲法改悪を進めようと、この秋の臨時国会中自民党案が発表されることになっています。翌日、9月9日にラクト前の9条宣伝でもこのことを訴えました。「憲法9条なんて、自分には遠い問題だ」と思っている方も、「自民党改憲案が発表されますよ」と伝えると、配っているチラシを受け取られました。青年とも長い対話になりましたが、安倍政権の戦争する国づくりの数々をあげる度に「えー!」と驚かれます。まだまだ、伝わっていません。皆さんも知りたいと思っておられます。同日の第52回山科母親大会では日本共産党を代表してごあいさつをさせていただきました。金杉美和弁護士から自民党の改憲草案についてじっくりお話を聞きました。いまこそ憲法の大切さを学び、広げましょう!



\* 敬老乗車証守ろう! 京都市に意見を届けてください! \*

⇒あて先: 京都市担当課 FAX 661-5855

ヨコ子の

ママチャリ

子育て日記

あわや親子でラジオ出演に!



KBSラジオと京建労主婦の会のコラボ企画で、食育のイベントが開催されました。子どもと母親と一緒に弁当を持って出演し、コンテストされる企画です。手の凝ったお弁当なんてつくれないし、ましてうちはお弁当のおかずはお父さんがつくって、私はお弁当箱に詰めるだけ! ですが、エントリーすることに……。でも、嘘は言いたくないので、正直に言わせてね、と夫にも了承とり、念を押したところ、ラジオ局からはOKが。「お父さんも途中から一緒に出てください」ということになりました。

他の二組の親子は、手の凝ったキャラ弁当や、色とりどりの力作弁当。うちのはいつも通りの地味な弁当。でも、夫は秋の食材を工夫して、がんばっておかずをつくってくれました!

会場はKBS京都本社のホールで、予想外のお客さん。舞台の上で笑福亭晃瓶さんに突っ込みをいれられながらインタビューを受けます。娘の和歩にとっては珍しい経験ができました。ラジオの本番出演は、優勝者だけ、とあって、当然その機会は逃しましたが、こんな家庭もあったていいですよ!

……うちの家庭らしい、親子の思い出になりました。

